

うつのE場所『ちゃんす』

イキル応援プロジェクト Life Power

コース
初動
事業

申込内容

■事業の概要

①うつで社会参加がしづらい人（引きこもり含む）に、自由な居場所を提供する。（ボランティアとして参加もできる）②保護者同士のふれあいの場、子どもの心を学ぶ勉強会、専門家に悩み相談ができる場を設ける。

■目的

うつなどで社会参加が難しく自己否定感の強い当事者たちが、自己肯定や、自己決定を可能とし、自分の人生の選択を自分の為に自分で決定できるよう応援（エンパワー）し、自ら命を絶つ人のない明るい社会をめざす。

■交付決定額 100,000 円
（事業予算 260,000 円）



◎活動の様子

11月29日（土）、うつのE場所『ちゃんす』が蛍池公民館で開催されました。今回は、福祉に関するさまざまな情報を聞くための座談会として、市民活動団体「くつろぎステーションつばさ」の代表で社会福祉士の江頭雅史さんとWEB担当の後藤慎哉さんを招き、お話をうかがいました。「くつろぎステーションつばさ」は2001年10月に設立された団体です。コミュニケーションが苦手な20～30代の対象に、いろんな体験や取り組み・交流をしながら「社会参加への第一歩」を踏み出せるような活動をしています。

まずは、自己紹介。今回は社会福祉士やケアマネジャーなど福祉分野の資格を持っている参加者が多かったこともあり、支援者の視点を織り交ぜて話を進めることとなりました。そして、人の発言を否定しないなど「場の約束ごと」をみんなで確認して、江頭さんが現在の活動に至るまでの話から座談会が始まりました。一般的に社会福祉士というと、高齢者福祉の分野をイメージされがちですが、高齢者だ



けでなく、心身のハンディキャップや社会環境の理由で、日常生活を営むのに支障がある人の福祉に関する相談に応じ、助言・指導などを行う国家資格です。江頭さんは、社会的な理解や支援のしくみが全くなかった時代の当事者としての経験から、生きづらさを抱えた若者のための自助グループ活動を始め、資格もその活動のために半ば必要に迫られ取得したというものでした。座談会の最後には、「くつろぎステーションつばさ」のこれまでの活動のあゆみにつ

いてスライドショーで紹介していただきました。「活動を続けること自体が、一番良い広報になる」。10年以上活動されている江頭さんの話に、同じ分野で活動をするLife power代表の横山さんはじめ参加者の方々は、深くうなずいていました。1月には引続き、江頭さんに来ていただき具体的な事例についての相談会を実施する予定をしています。

◎今後の予定（平成26年度）

1月 社会福祉士さんと相談会

◎リンク

▼[イキル応援プロジェクト Life Power ホームページ](#)